

移住者と地元をつなぐひと 川村 千恵 さん



元浜町に事務所を構える長浜市移住定住促進協議会移住相談員の川村さん。

移住の相談は、本人の一生を左右する大事なものです。そして、移住の目的には一つとして同じパターンはありません。地元・長浜の集落によっても、対応には大きな違いがあります。だからこそ、「移住希望者からの相談や聞き取り調査はもちろん、地元の方々との連携はとても重要で、会話や交流を大事にしたいです」と話します。

移住した後のケアやフォローも相談員の仕事。「空き家バンク制度」を通じて移住者の受入実績は延べ十数件になりますが、事務所を経由していない移住者からも相談を受け付けたり、集落からは、空き家対策や近所の移住者についての相談にも乗るなど、「一度、引き受けたからは自信を持って移住者

移住定住モデルケース 鍛冶屋町

地域の魅力を活かした移住者との融合



まちづくりイベント「とんてんかん in 鍛冶屋」

市内でも、すでに移住者を受け入れ、ともにまちづくりに取り組んでいる集落があります。

鍛冶屋町は、草野槍の産地として、往時は百軒の鍛冶が軒を連ね、活気にあふれていました。今では、鍛冶をする人はいなくなりましたが、まちを活性化させようと、鍛冶をテーマに町全体で毎年イベントが催されています。

このイベントの特徴は、鍛冶屋町への移住者が企画の段階から大きく関わっていること。鍛冶という地域資源をテーマにしつつ、移住者が活躍できる場を作り出すことで、地元と移住者双方のメリットを確保しています。互いに認め合い、必要としながら、よりよいまちづくりのために共生・協働している事例の一つです。

と地元との良好な関係構築をバックアップし、お互い良い形での定着を目指します。長浜っていいところだな、と思っていたいただきたいので、とことん、お付き合いさせていただきますよ。

ただ、人間関係や土地勘のない新しい場所での暮らしには不安はつきもの。受け入れる集落でも、様々な問題やトラブル、悩みも出てくるでしょう。そんな時こそ、対話や交流が大事になってきます。「地元・長浜の方にも、移住希望者の方にも、すでに移住されている方からも、問い合わせ、相談など大歓迎。いつでも、どんなことでも、相談員が立ち会いたいものと、一緒に問題解決を目指します！」

■空き家バンクに登録を！

空き家バンクには現在、中山間地域の物件を中心に25件（そのほか準備中の物件が数件）の登録があります。集落散策・交流イベントや空き家見学会などを実施すると、毎年、県内外から延べ1000人を超える参加者が集まります。様々な地域で、いろいろな空き家を案内できれば、移住希望者からさらに注目を集めることができ、移住者を増やし、集落人口の増加

地元代表

鍛冶屋まちづくり委員会
草野 武さん



8年前、まちづくりを真剣にやろうと「鍛冶屋まちづくり委員会」を有志で立ち上げました。集落を去った人も多いですが、「今住んでいる人が楽しめるまちを作りたい」と目標を持ちました。鍛冶のまちでしたので、これをテーマにしようと皆で決めて、鍛冶の仕方を習うところから始めました。山田さんも委員会に加わってくれて、今ではなくてはならない存在になっています。移住者も地元民も真剣に取り組んでいますので、議論も白熱し、時にはけんかになることもありましたが、よく考えると家族のようになってきた証拠かなと思います。今後は、委員会を法人化して、地元にとっての利益も生み出し、全国の鍛冶職人を集めてサミットをしたい。いま、鍛冶屋は移住者も地元民も切磋琢磨して、まちが活気づいています。

移住者

鉄作家
山田 大介さん



移住を決めたとき、家や仕事場の手配に地元の人が親身になってくれたことを今でも感謝しています。ほどなくまちづくり委員会に参加して様々提案しましたが、最初はなかなか理解してもらえませんでした。私が別の場所で実施していたペーパーナイフ作りのワークショップを草野さんが見て、「これを鍛冶屋で実施すれば、面白いことになる」と言ってくださり、「とんてんかんin鍛冶屋」で実施。多くの人で賑わいました。鍛冶という地域資源を外へ発信するため、議論を深め、活動を続けていくうちに互いに理解し合えるようになりました。最近、鉄作家として活動することが、自然と鍛冶屋を発信することに気づき、鉄作家とまちづくりの両方を頑張っています。まちを思う気持ちの強い人に囲まれ、鍛冶屋に来てよかったと強く思っています。

に貢献することができそうです。集落内の空き家について、ぜひご相談ください。

■自治会と十分協議します

通常の不動産契約では、空き家所有者と使用者の交渉のみですが、「空き家バンク」では、地元自治会や集落の意向を十分くみ取り、移住希望者とのマッチングを進めています。相談員がその仲介になり、空き家バンク登録について自治会とも協議↓移住希望者からの相談受付↓自治会内での対応協議↓空き家所有者と移住希望者との面談など、きめ細かい相談業務を請け負っています。

問 長浜市移住定住促進協議会
(事務局 いざない湖北定住センター)
50-11019

長浜市のU・イーターン支援

市では、移住者に対する支援を行っています。市外にお住まいのご家族や知人の皆さんにご紹介ください。

U・イーターン起業支援事業補助

市外から転入し、起業した人に、要する経費の一部を補助します。(上限50万円)

定住住宅改修促進事業

市外から転入し、戸建ての中古住宅等の改修をする人に、要する費用の一部を補助します。(最大100万円)
※詳しくは、8ページをご覧ください。

空き家・空き店舗の再生に関する融資制度(滋賀県)

長浜市の「空き家バンク」等に登録された空き家を改修し、事業を行う人に設備資金、運転資金を融資する制度。(上限2,500万円 年利1.25%)

その他の支援メニューなど詳細は、左記ホームページをご覧ください。

「移住支援ポータルサイト」
「ナガハマキャピタル」



QRコード

http://www.nagahama-capital.net/